

だれもが 自分らしく

～性の多様性～



「あなたは何歳ですか？」

「あなたの名前は何ですか？」

「あなたの性別は何ですか？」

生まれながらにしてカラダが男性だから「男」

戸籍や住民票上の性別が女性だから「女」

そんな風に答える人と、そうではない答えの人がいます

そして

そうではない答えの人が「自分の性」のことを話しやすい世の中ではありません

「性の多様性」について少しでも理解してもらえたらいいなと思ってこの冊子は出来上がりました

性ってなんだろう？

人はすべて多様であり、性についても多様です。性の要素は複数あり、その組み合わせも様々です。

- ・生物学的な性(からだの性):生物学的な性が男性か女性か
- ・性自認(こころの性):自分自身が自分の性別をどのように思っているか
- ・性的指向(好きになる性):性的な関心がどの性別に向いているか
- ・性表現(社会的な性):自分をどのように表現したいか(服装・しぐさ)

これらの要素によって性のあり方が多数派、少数派に分かれ、「少数派」の人のことをSexual Minority(セクシャルマイノリティ)と表現されています。

SOGI(ソギ・ソジ)

性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)の頭文字をとって「SOGI(ソギ・ソジ)」と表現します。「SOGI(ソギ・ソジ)」は少数派・多数派に関係なく「性の多様性」はすべての人に関わることだと捉え直すために使われる表現です。

性的指向(Sexual Orientation セクシャルオリエンテーション)

L	Lesbian	レズビアン 同性を好きになる女性
G	Gay	ゲイ 同性を好きになる男性
B	Bisexual	バイセクシャル 異性を好きになることも、同性を好きになることもある人

性自認(Gender Identity ジェンダーアイデンティティ)

T	Transgender	トランスジェンダー 出生時に決定された性とは異なる性を自認する人
Q	Questioning	クエスチョニング 自分の性指向や性自認が定まっていない・決めない人
	Queer	クィア 規範的な性のあり方以外のセクシュアリティ
+	Plus	プラス さらに「+」を加えより多様な性があることを表現しています

性的指向と性自認の属性の頭文字に+を加え、性的マイノリティの多様さを「LGBTQ+」と表現します。

同性愛者を笑いのネタにしたり、「おまえ『ホモ』っばいよなあ、俺のこと襲うなよ。」「あの人ってレズビアンなんだって。直接聞いちゃった。」など、日常的にセクシャルマイノリティをからかうような雰囲気があるのは、当事者にとって大変つらい環境です。身近なところにゲイやレズビアンの人がいるかもしれないと再認識し、セクシュアリティを尊重することが大切です。

カミングアウト

カミングアウトは、「自分にとって大切な人や環境だからこそ、本当の自分を知ってほしい」「困ったことがあるので相談に乗ってほしい」など切実な思いから行われます。カミングアウトを受けた時には、あなた以外の誰に打ち明けているのか、誰になら話してもいいのかを確認してください。そして信頼し、勇気をもって打ち明けてくれたことを理解し、感謝の気持ちを伝えましょう。

アウトティング

本人の同意がない状態で性的指向や性自認を第三者に暴露することをアウトティングといいます。「自分一人で受け止めきれなかった」、「周囲に話したら理解がすすむと思った」など、どんな理由であれ当事者の許可なく他人に話すことはプライバシー侵害になります。

ALLY (アライ)

ALLY(アライ)とは、同盟や支援を意味する英語allyが語源で、セクシャルマイノリティを理解し、支援するという考え方やその考え方を持つ人のことです。

ALLYになるためには自身がLGBTQ+の人を差別しないだけでなく、差別を見過ごさないことも必要です。例えば「彼、彼女」という言葉を「パートナー」と表現し、「お嬢さん、息子さん」を「お子さん」と表現することもALLYができることです。また自分はALLYだと表明することで、セクシュアルマイノリティをカミングアウトしていない人に寄り添うことができます。



レインボーフラッグとは、LGBTQ+の尊厳と、社会運動のシンボルとして作られた旗です。1970年代後半、ゲイの解放運動をきっかけにLGBTQ+のシンボルを“虹”にしようと活動が始まりました。

セクシャルマイノリティへの理解を示すシンボルとして、文具や日用品にもレインボーフラッグは使われています。

羽曳野市女性相談 (LGBTQ+に関する相談 可)

実施日時

第1水曜日・第2金曜日・第4水曜日
13時30分～16時30分
(おひとり50分)

面接相談・電話相談 いずれも要予約
※偶数月の第4水曜日は面接相談のみ

予約電話

072-958-1111 (内線 1055)

- *匿名でも相談できます。
- *秘密は厳守します。
- *DV、様々な人間関係、健康についてなど、女性が抱える悩みを専門の相談員と一緒に考えます。
- *相談料は無料です。
ただし、電話料金は自己負担となります。

男性のための電話相談 (LGBTQ+に関する相談 可)

専門の男性相談員が電話を受付ます。

実施日時

第1・4水曜日 16時～20時
第2・3土曜日 11時～15時

※相談日が年末年始・祝日にあたる場合は、他の週に振り替えて実施します。

※相談日については、ドーンセンターホームページにてご覧いただけます。

電話番号

06-6910-6596

※ナンバーディスプレイは使用していません。

実施運営 ドーン財団
(一般財団法人大阪府男女
共同参画推進財団)

主 催 大阪府

(令和5年11月現在)